

「JENESYS2.0」

中国母子保健代表团

訪問日程 平成 27 年 6 月 28 日（日）～7 月 2 日（木）

1 プログラム概要

中国国家衛生・計画生育委員会が派遣した中国母子保健代表团計 32 名が、6 月 28 日から 7 月 2 日までの 4 泊 5 日の日程で来日しました。（団長＝王巧梅（オウ・コウバイ）中国国家衛生・計画生育委員会 婦小児健康服務司副司長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、代表团は（一社）親子健康手帳普及協会主催の母子手帳に関する勉強会に出席したほか、東京・神奈川・群馬の病院や母子保健関連施設の訪問及び関係者との交流を通じて、日本の母子保健事業への理解と、日本の青年や市民との親睦を深めました。また、歴史的建造物の見学、日本文化体験などを通じて、クールジャパンに直接触れ、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程

6 月 28 日（日）

成田空港より入国、皇居二重橋見学、オリエンテーション

6 月 29 日（月）

愛育病院訪問、母子手帳に関する勉強会・レセプション

6 月 30 日（火）

横浜市役所・横浜市中区福祉保健センター訪問、群馬へ移動、世界遺産富岡製糸場見学、和風旅館での日本文化体験

7 月 1 日（水）

高崎市保健所訪問、高崎だるま絵付け体験、東京へ移動、歓送報告会

7 月 2 日（木）

商業施設視察、成田山新勝寺見学、成田空港より帰国

3 写真



6 月 28 日 皇居二重橋見学 （東京都）



6 月 29 日 愛育病院訪問（東京都）



6月29日 母子手帳に関する勉強会
写真右より高村治子 元外務大臣・自民党
副総裁夫人、福田貴代子 元総理夫人、王巧
梅団長、汪婉 中国大使夫人、代表団幹部
(東京都)



6月29日 母子手帳に関する勉強会
(東京都)



6月29日 勉強会 王巧梅団長による講義
(東京都)



6月29日 勉強会後のレセプション
福田元総理、程永華大使を囲んで (東京都)



6月30日 横浜市役所・横浜市中区福祉保健
センター訪問
(神奈川県)



6月30日 世界遺産 富岡製糸場見学
岩井賢太郎 富岡市長（後列中央）が出
迎え
(群馬県)

	
7月1日 高崎市保健所訪問 (群馬県)	7月1日 高崎だるま絵付け体験 (群馬県)
	
7月1日 歓送報告会で訪日の成果を発表 (東京都)	7月2日 成田山新勝寺見学 (千葉県)

4 団員の感想（抜粋）

○今回の訪問を通して、日本に対する理解が深まった。経済、社会、文化の繁栄を感じ、戦後日本が急速に発展した理由が分かった。同時に、中国を発展させていくことへの緊迫感をより強くした。帰国したら、次のような見たこと・聞いたことを周囲に伝えたい。

1つ目は、日本人は一般的教養が高く、高い教育を受けており、紀律を守る意識が強いこと。国民の一般的教養の高さは国を強くするための基盤となる。

2つ目は、自然環境の保護が良くなされていること。どこに行っても美しい山河があり、緑が豊かで、空気もきれいだ。暮らしに適した環境である。

3つ目は、経済・社会が発展しており、インフラも整い、基本的に都市と農村の格差がないこと。

4つ目は、特徴ある文化を有していること。中国と同じ東アジア文化圏に位置しているが、独自の文化を維持する努力を続けている。

○今回の訪問で印象深かったことがたくさんある。まず、街に関する印象は、清潔で、人に優しく、きめ細かな配慮がされているということだ。環境が美しく、緑豊かで、道路は洗ったかのように清潔だ。施設も利用者の立場で設計されており、何かと便利である。また、人々は親切で、一般的教養が高い。

受け入れ側スタッフの仕事態度は、熱心で行き届いており、時間どおりに動く。母子保健の分野についても、日本人は長年にわたって取り組んでおり、仕事はシステムチックに細分化されている。歯のケアの重要性のPRにも熱心だ。いずれも私たちが学ぶべきことである。また、日本は悠久の文化も持っている。

帰国後は、日本の人や文化について、また、母子保健で特に重視していた事柄について、まわりの人々に伝えたい。

○とても印象深かったことは、日本人の一般的教養の高さと、優れた家庭保健サービスである。

日本人の保健意識は高く、家庭の中で気を配っているのは一般的に母親だ。帰国したら、今回学んだ進んだ考えを実践に移したい。

6月28日から7月2日の日本滞在中、多くのものを得ることができた。愛育病院、横浜市中区福祉保健センター、高崎市保健所を訪問し、日本の風土や人情を感じた。日本風の温泉も体験した。

日本では母子保健サービスに必要な経費は政府が負担し、国民皆医療制度をとっている。0歳から14歳の子供はすべての検査を無料で受けることができる。我が国と比べると、日本の医療サービスはヘルスケアが中心である。母子サービスにおいては、母子手帳が全国に普及して既に数十年が経っている。第二次世界大戦後から今まで、絶えず改定が繰り返されてきた。我が省の母子手帳は、妊娠期の保健、児童の保健、予防接種と3冊に分かれているが、日本はこの3種類が1冊にまとまっており、妊娠期から大きくなるまでの全過程が収まっている。子供にとってすばらしい贈り物だ。

○最も印象深かったのは、日本人の一般的教養の高さだ。

人々の一般的教養の高さについて：

1. 国民の自律意識。今回の交流を通して、日本側の受け入れスタッフや宿泊施設の従業員らと接し、日本人の一般的教養、とりわけ自律意識が高いことがよく分かった。人より早く到着し、人より遅く休む仕事態度や、周到的なスケジュールリングには感動した。
2. 美しい環境。どこに行っても清潔で美しい。それをよく表しているのが、日本では企業であろうと、宿泊施設であろうとトイレ掃除を専門にするスタッフを見かけなかったこと。しかし、トイレはいつも清潔で、まったく頭が下がる。私たちも学ぶべきだ。